議会だより

ふだい

岩手県普代村議会
No.142
平成30年1月25日発行

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。

みんな、撮るよ～

1月5日、自然休養村管理センターで行われた新年恒例の村成人式。新成人たちは晴れの門出をスマートフォンに収めていました。瞳の先に映る世界が、希望あふれる未来でありますように…。

白井漁港の防波堤工事、除雪費など2億3746万円などを増額可決－12月定例会　2ﾍﾟｰｼﾞ～
人口減少問題、普代駅貸店舗の活用策、矢巾町交流推進など　一般質問に3人　6ﾍﾟｰｼﾞ～
普代中3年生が議会を傍聴！　感想を紹介　10ﾍﾟｰｼﾞ～
臨時議会、委員会リポート、議会の動きなど　12ﾍﾟｰｼﾞ～

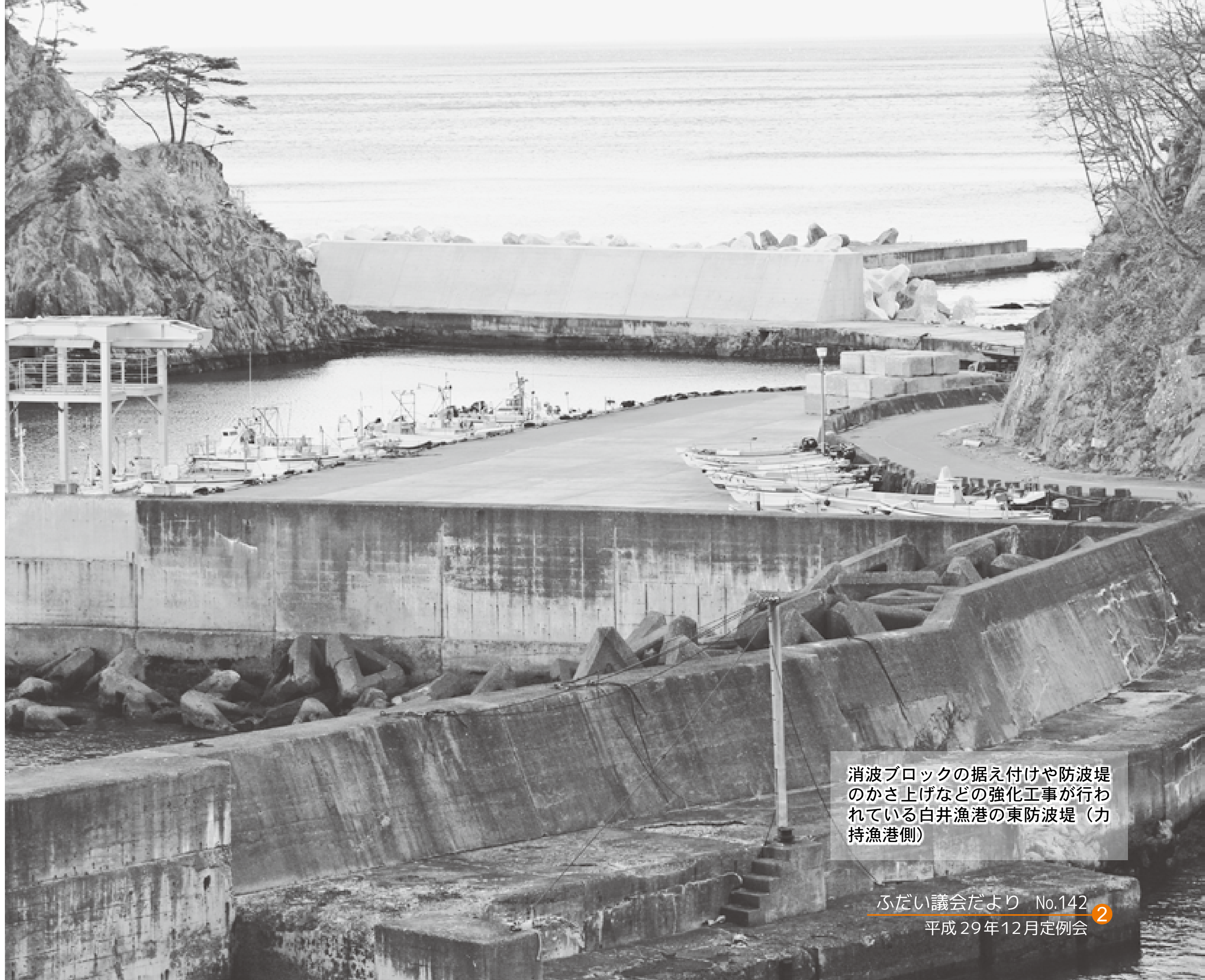
12月定例会

2億3746万円を増額可決

白井漁港 防波堤を整備

村議会12月定例会が12月14日に開かれ、白井漁港の防波堤整備や除雪費など一般会計補正予算２億3746万円を増額可決したほか、６つの特別会計を併せた増額補正予算3791万円を、全員賛成で可決しました。そのほか条例の改正など11議案が審議され、全員賛成で可決しました。

また、陳情２件を採択。意見書の発議案２件を可決しました。村の政策を問う一般質問には３人が登壇。人口減少問題、普代駅舎の活用策、矢巾町との交流推進などの質問が出され、村の課題を問いました。



消波ブロックの据え付けや防波堤のかさ上げなどの強化工事が行われている白井漁港の東防波堤（力持漁港側）

一般会計補正予算

漁港整備や除雪 道路補修に2億円

▽一般会計補正予算（第6号）

補正額２億３７４６万７千円を増額することを可決し、歳入歳出それぞれを33億１０７２万４千円にしました。

主な内容は、白井漁港の防波堤整備に６０８７万円、沢・白井・黒崎の３漁港の修繕箇所などを調査する水産物供給基盤機能保全事業委託料３６００万円を増額しました。

そのほか村道の補修工事１５００万円、社会体育館トイレの洋式化工事６２４万６千円、除雪業務委託料８７７万６千円などを増額しました。

また、復興事業が完了したことから東日本大震災復興交付金基金等（農林水産省分）７２２０万３千円を計上し、国に返還します。

質疑

村道の補修工事場所はどこか？

嵯峨議員

問 村道補修工事１５００万円の場所はどこか。

太田建設水産課長

答 南白井港線のふた付き側溝の改良に７００万円と、萩牛線の法面が若干崩れている部分の整備に３００万円。

そのほかグリーンロードの茂市交差点の土砂撤去に５００万円。併せて１５００万円となる。

村の魅力を発信している「ふだいFAN（ファン）」のホームページ

「ふだいFAN」委託内容を伺う

金子議員

問 まち・ひと・しごと創生費のふだいFAN管理運営委託事業増１５９万６千円の内容を伺う。

道下政策推進室長

答 昨年、めんこいテレビさんに放送いただいた「青の国から」の１年分がまとまったものがあるが、それのDVD化を図りたい。

また、村の新しいプロモーションビデオ（５分の長編と30秒程度の短編）の作成をめんこいテレビさんに委託する分で１２９万６千円。残りの30万円は、ふだいFANというサイトを「㈱青の国ふだい」に３カ月分委託するものである。

人間ドックの補助 来年度はどうする

中上議員

問 ９月の議会で、農協関係の人にだけ１日人間ドックの補助を出すのはおかしいのでは、という質問に対し、来年度予算から考えるという答弁があったが、状況を伺う。

坂下住民福祉課長

答 これから来年度の予算査定が始まるが、対象を広げ、予算・人数も今までの倍に予算計上している。

簡水への繰り出し 700万円の内容

野場議員

問 衛生費７００万円の簡易水道特別会計への繰出金の内容を伺う。

太田建設水産課長

答 普代５号線の沢山橋のところから川沿いに道路工事をする予定にしているが、水道の本管の工事費に５５０万円、また上区地区の災害復旧配水管の復旧工事１５０万円。合わせて７００万円分を繰り入れる。

村内の4漁港で完成港の状況は

金子議員

問 漁港建設費の村漁港４つ（黒崎、白井、沢、弁天）の完成港について伺う。

太田建設水産課長

答 黒崎漁港については完成。白井漁港は来年度４２００万円弱で完成。沢、ネダリ（弁天）についても、現在新たな計画がないので完成港扱いとなる。

29年度の借入額 いくらぐらいか

大上議員

問　公債費（国などからの借入金）の償還利子が50万円マイナスになっており、返済を前倒しし、利息分がもうかり非常によいことだと思う。そこで29年度に公債費の元金3億7800万円を支払う訳だが、29年度の借り入れ分はいくらあるのか。単年度合計はいくらぐらいになるのか。

川向総務課長

答　借り入れの分については、合計額で4億4000万円が29年度分の事業の借り入れである。

ただ、28年度の繰り越し事業、事故繰り越しなどあれば数字が動くため、約4億3000万円ほどの借り入れ見込みとなっている。

福祉灯油等の助成 対象世帯の内訳を

正路議員

問　福祉灯油等購入助成事業で246世帯はどういった世帯になるのか。

また、この事業は県の補助対象になっているはずだが、村がかさ上げをするということもあるのか。

坂下住民福祉課長

答　246世帯の内訳は、高齢者世帯が208世帯、障害者世帯が27世帯、要介護4以上で家庭にいる世帯が1世帯、一人親世帯が10世帯である。補助額は5000円となる。

県の12月議会で福祉灯油の助成は決まっていて、県は半分の2500円を補助することになっている。

◆12月定例会で決まった議案◆

議案番号等	議　案	審議結果
議案第１号	**平成29年度普代村一般会計補正予算（第６号）** 補正額２億3746万７千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ33億1072万４千円にしました。3㌻で掲載した以外には、総務費で、ふだいFAN管理運営委託事業159万６千円で村PR用DVDなど作成のため増額。社会福祉費では、障害者等自立支援給付費、福祉灯油等購入助成事業など1546万７千円を増額。林業費では、村有林作業道補修に45万８千円、消防費では防火水槽移設工事費300万円、災害復旧費では、台風10号による農地・農業用施設災害復旧修繕費427万円をそれぞれ増額しました。一方、農業費では、就農者のハウス１棟減となったため、いわて地域農業マスタープラン実践支援事業補助金104万７千円を減額としました。	可決（全員賛成）
議案第２号	**平成29年度普代村国民健康保険特別会計補正予算（第２号）** 補正額853万７千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ４億6081万８千円にしました。電算共同処理委託料60万１千円、出産育児一時金84万円を増額する一方で、被保険者の減により保険財政共同安定化事業拠出金を954万２千円減額。	
議案第３号	**平成29年度普代村国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第２号）** 補正額92万２千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ２億2262万２千円にしました。歯科の貴金属購入の増額が主なもの。	
議案第４号	**平成29年度普代村簡易水道特別会計補正予算（第３号）** 補正額3900万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ１億7514万４千円にしました。三陸沿岸道路工事に伴う白井簡水配水管移設工事2700万円と萩牛簡水（落合地区）配水管移設工事450万円の増、また、上普代５号線配水管布設工事550万円、普代簡水（上区）配水管復旧工事150万円などの増が主なもの。	
議案第５号	**平成29年度普代村休養施設事業特別会計補正予算（第３号）** 補正額290万９千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ１億2478万８千円にしました。くろさき荘の渡り廊下の屋根塗装、大浴場の防水シート張り替えによる修繕料の増、電気料の増額などが主なもの。	
議案第６号	**平成29年度普代村漁業集落排水事業特別会計補正予算（第２号）** 補正額62万５千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ2474万５千円にしました。35万円で排水施設のポンプの修繕をし、電気料25万円を増額。	
議案第７号	**平成29年度普代村後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第１号）** 補正額299万４千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ3159万４千円にしました。後期高齢者医療広域連合納付金266万円の増額が主なもの。	
議案第８号	**普代村情報公開条例の全部改正について** 村保有情報の一層の公開を図るため、村などが作成する行政文書の公開をこれまで村民などに限定していたものを、村外の人でも開示請求できるようにするため、所要の改正をするもの。施行は平成30年4月1日から。	可決（全員賛成）
議案第９号	**一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について** 岩手県の例に準じて、給料表、勤勉手当の支給割合及び初任給調整手当の支給限度額の所要の改正を行うもの。平均0.15%のアップ。平成30年1月1日から適用。	
議案第10号	**普代村看護・介護職養成奨学資金貸付条例の一部を改正する条例について** 本条例に「保育職」を追加するため、所要の改正を行うもの。施行は平成30年1月1日から。	
議案第11号	**監査委員の選任につき同意を求めることについて** 任期満了に伴い、松葉明人現普代村監査委員の再任に関し同意を求めるものです。任期は、平成30年２月７日から４年間。	同意（全員賛成）
報告第１号	**村所有車輌に係る物損事故に伴う損害賠償事件に関する専決処分の報告について** 村所有車両にかかる物損事故の損害賠償金として９万4200円を賠償した。	－
発議案第1号	**「私学助成の充実を求める意見書」の提出について** 過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額を含め、私学助成金を更に充実することを国に要望するもの。	可決（全員賛成）
発議案第2号	**「日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准（ひじゅん）することを求める意見書」の提出について** 核兵器の悲惨さを知る唯一の政府として、日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会での批准を経て条約に正式に参加することを国に要望するもの。	

人事

識見を有する監査委員の任期が2月6日で満了することで、選任についての同意が当局より求められ、現村監査委員の松葉明人さん（57＝中央区）を再任することを全会一致で議決しました。任期は平成30年2月7日から平成34年2月6日までの4年間です。

条例

村保有情報の一層の公開図る

▽村情報公開条例の全部改正

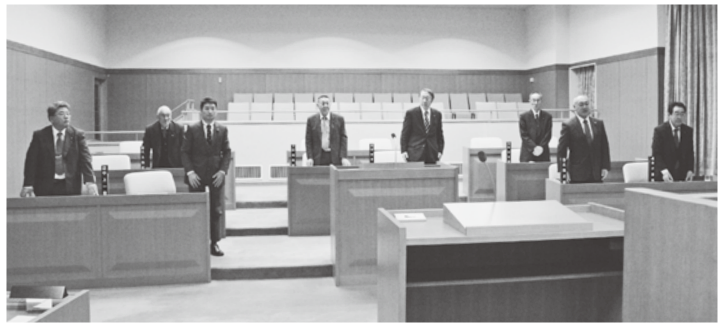
村保有情報の一層の公開を図り、透明性のある公正な行政運営の推進のため改正するものです。

行政文書の公開について、これまで村内に住所を有する者、また過去において同様の事情にあった者など限定していた請求権の住所要件を限定せず「何人も」と改正し、所要の整備を図るものです。平成30年4月1日からの施行です。

職員の給与改正

▽一般職の給与条例の一部改正

岩手県の例に準じて、一般職の職員の給与に関する条例を改正しました。アップ率は平均0・15％で、平成30年1月1日からの適用です。



12月定例会では13議案が可決されました

次のページから「一般質問」

村の課題を熱く議論！

12月定例会の一般質問には、嵯峨典行議員、中上一登議員、金子泰男議員の３人が登壇しました。

一般質問は、本会議で議員が執行機関である村長などに対し、村政全般に関する、事務の執行状況、村政の方針などについて質問し、報告または説明を求めるものです。

村議会の一般質問は「一問一答方式（いちもんいっとう）」で行っており、１人60分の制限時間内で質問・答弁を繰り返します。

質問者と内容

【１番目】
嵯峨（さが） 典行（みちゆき） 議員
6p

①村の人口減少に歯止めを
②村図書室の建設予定は

【２番目】
中上（なかがみ） 一登（かずと） 議員
7p

①普代駅舎を利用した活性化策は
②住宅施策と小中一貫校建設について
③三陸沿岸の核のごみ処分場適地候補

【３番目】
金子（かねこ） 泰男（やすお） 議員
8p

①矢市町と普代村の友好交流推進を
②復興道路完成後の村の振興発展策は
③中学校のクラブ活動の実態は

人口減少問題

人口減少、歯止め政策伺う

嵯峨典行

総合戦略事業を実施
――柾屋村長

質問 村の人口は昭和40年の4796人をピークに年々、減少している。平成29年10月末時点では2784人と約50年間で約2000人もの人口が減少している。

今後、村として人口減少に歯止めをかけるため、どういった政策を取っていくのか。

村成人式。ほとんどが村外の高校に進み、卒業後村外に就職・進学しています

安定雇用・結婚・出産 子育て支援など推進

答弁 柾屋村長 今後の人口展望などを示す「普代村人口ビジョン」と人口減少を克服していくための施策、その数値目標を設定。さらに総合戦略を策定し取り組んでいる。

人口ビジョンでは、2040年に496人多い2258人にしたいところである。

総合戦略では、安定雇用の創出、新しい人の流れづくり、結婚、出産、子育て支援の充実、安心な暮しの確保など4つの基本目標とこれに係る、14の施策並びに50の具体的事業を実施する。

いずれ、働く場、地場産業の拡大、広域市町村での取り組みを行う中で、雇用の場の確保に取り組みたい。

図書館教育

新しく図書室を建設する予定は

質問 現在、図書室として使用している建物は、昭和35年に建設された旧役場庁舎を使用している。しかし、建設されてから57年もの歳月が経過し、耐震工事もしていない危険な建物を使用し、かつ、図書室内は狭く、本を読むスペースが少なく不便な所である。

今後、村民の方、小中学生などが安全、快適に使用するため、新しく図書室を建設する予定はないか。

老朽化の認識はある 学校施設内外で検討

答弁 柾屋村長 教育行政基本方針にも述べられているとおり、村民の誰もが本に親しむことができるなど、生涯学習の土台を支えている図書室は重要な役割を果たしている。

その中にあって、老朽化が著しいことは認識をしている。

新しい図書館の整備については、普代型スクールコミュニティ構想、普代村教育ビジョン、そして小・中一貫校施設整備基本構想、それぞれにおいて、一貫校の校舎内に地域の方々にも活用できる生涯学習スペースとして、これを配置するよう提案されているところである。

当面、一貫校の施設など具体的に固めていく中で、並行して、学校施設内外どこに配置するかを方向付けしていく。

旧役場を活用した村図書室（1階）

地方創生

改修した駅舎の活用法は？

中上一登

借り手募集は工夫する
――柾屋村長

質問 普代駅舎は1年数カ月以上かけ、地方創生事業という前提で改修され11月にオープンした。

今、貸店舗として募集し、何をやるのか決まっていない状況は、あまりにも無計画ではないのか。

産業団体などに相談 効果的な活用努める

答弁 柾屋村長 ㈱青の国ふだいに出資いただいている岩銀ほか産業4団体、三鉄、JTBなどからご指導を受け効果的に活用させていただく。

いずれ早く応募があるよう、商工団体、村民関係者にも相談し初期目的をかなえるように努める。

イベントでの集客など 有利な条件示しては

質問 計画時にも提案しているが、村で産直販売を充実させる施設も合わせて計画しておくべきではなかったか。

また、駅に出店するにはあまりにリスクが大きすぎる。有利な条件やイベント集客のメリットなども合わせて宣伝し募集しないと、借り手はつかないと思うがどうか。

年度内は募集を続け 募集方法も検討する

答弁 柾屋村長 店舗スペースの貸し方について少し工夫をしていかなければと思っていた。年度内はこのまま募集を続け、3月後半から新たな募集の仕方について議会とも相談し取り組む。

普代駅舎内の貸店舗

答弁 道下政策推進室長 店舗部分は、広くなり利用者の利便性も高くなっているので、観光客の待合スペースや地域の方々の交流スペースなどに活用し、起業にチャレンジできるような募集も図っていく。

質問 今の駅前空き家状態は、イメージが良くない。

暫定的にでも村で何かを計画すべきと思う。また、村は銀次選手という有名な野球選手の出身地でもある。駅前に等身大を置くなどの要請も必要と考える。

学校教育

住宅施策と合わせ 小中一貫校建設を

質問 高齢単身者や子育て世代が安心して暮らせる住宅確保は重要になる。小中一貫校建設と合わせたコミュニティーを考える必要はないのか。

集合住宅的なところでお互いに子どもや高齢者の見守りなどもでき人口減対策にもなる。

皆が集まりやすい 一貫校建設を推進

答弁 柾屋村長 村単独での住宅建設は可能ではあるが、入居しやすい条件などの制度面をどこまでにするかなどの検討課題もある。

あらゆる方が集まりやすく、利便性も良い一貫校建設が進めばと思っている。

答弁 三船教育長 一貫校建設については、まだ具体的検討がなされていないが、学習の場、交流の場、生活の場をコンセプトにしたいと思っている。

一貫教育実現のためではなく、教育目標実現のために一貫教育を推進していくものと捉えている。

※このほかに「三陸沿岸の放射性廃棄物処分場適地候補公表について」を質問しました。

「一般質問」村政を問う

友好交流事業

村と矢巾町 友好交流の推進を

協議し、前向きに取り組む ――柾屋村長

金子泰男

質問 平成12年から矢巾町との交流が開始され、平成24年2月友好交流に関する協定書調印式が行われた。調印5年を契機に、神楽公演(村)と町民劇場(矢巾町)の相互公演をしてはどうか、村長に伺う。

また、児童、生徒など教育分野での交流を増やしていくべきと思うが、教育長の見解を伺う。

神楽と町民劇場 実現できるか探る

答弁 **柾屋村長** 鵜鳥(うのとり)神楽と町民劇場の相互交流公演であるが、機会を見つけ検討、協議をし、実現できるかを探りたい。

双方予算的なことがあるので、ご理解いただきたい。矢巾町長の考え方で、これまでの実績、成果を踏まえ、積極的に普代とは交流を進めていくということ。

協議などつたなく話し合っており、前向きに取り組んでまいりたい。

答弁 **三船教育長** 教育委員会では平成14年、村長旗野球大会に矢巾町の中学校2校、その秋、ふだいまつりに子どもさんさ会を招待した。

矢巾町秋まつりに中学校の七頭舞同好会が参加。農業体験、施設見学を実施したのがスタートで、以後交流を続けてきた。

現在、児童、生徒も多忙で日程調整に苦慮しながらの事業展開であり、双方の事情等相談し、在り方などの検討をさせていただきたい。

昨年の堀内地区での鵜鳥神楽巡業

地域活性化

復興道路完成後の活性化構想は

質問 復興道路完成後、物流、観光、活性化など大きな期待と同時に、素通りされる懸念もある。村としてのメリット面、村長の描いている構想を伺う。

普代駅にスタンド 海産物の朝市など

答弁 **柾屋村長** 物流では、輸送時間、コスト、安定度も大きく改善され、水産物の加工、流通の拠点になることを期待している。

観光では、移動時間の短縮、潮風トレイル、景観、伝統文化、食など資源として、三陸鉄道と併せ、多くのお客様においでいただけるよう考えているところである。

素通りの件、普代駅に電気自動車のスタンドを、観光センターなど活用し海産物の朝市施設を、また、スポーツ交流、観光施設などを描いている。

学校教育

中学校のクラブ実態はどうか

質問 児童生徒も減少していく中、中学生が好きなクラブ活動ができなくなってきているのではないか。学校、教育委員会では、保護者も含めて課題解決のための話し合いが行われていると思うが、中身はどうか。また今後、生徒数が減少した時の対策は。

答弁 **三船教育長** 保護者を集めての話し合いなどは、校長が必要と判断した場合に、学校で行うこととなっている。

平成28年、生徒減少に伴う部活動の再編を検討した際、総合部を新設し対策をとる報告は受けている。

さらに、他校との合同チームで大会に参加させるなど、検討しなければならない。今後の推移を見守りながら対応したい。

皆さんからの請願・陳情

陳情2件を採択

12月定例会に提出された陳情は2件でした。総務常任委員会（金子泰男委員長）で審査した結果、2件とも採択とすることに決定。本会議でも全員賛成し、発議案として国に意見書を提出しました。

私学への助成増額・充実を

▼陳情人
私学助成をすすめる岩手の会　会長　土屋直人

▼陳情の内容
私学教育を充実・発展させるための陳情

私立学校の経営基盤は、厳しい環境にあり、保護者の学費負担が家計を圧迫している。また、生徒1人に係る教育費も公立学校と比べ低いことなどから、過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額、私学助成の更なる充実を求めるもの。

▼採択の理由
私立高校であっても公立高校であっても、将来の地域を担う生徒が等しく教育を受ける権利を尊重し、採択とした。

核兵器の保持禁止署名望む

▼陳情人
「ヒバクシャ国際署名」をすすめる岩手の会　会長兼代表　伊藤宣夫

▼陳情の内容
日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める陳情書

「核兵器のない世界」を目指す核兵器禁止条約を交渉する国連会議に、諸外国が参加し採択されたにもかかわらず、日本政府は参加せず、署名すらしていない。

核兵器の悲惨さを知る唯一の国の政府として、すみやかに署名し、国会での最終的な同意を得て、条約に正式に参加することを求めるもの。

▼採択の理由
核保有国と歩調を併せ不参加としたことも理解できるが、核兵器の悲惨さ、核のごみ問題など、やはり、核兵器はない方が望ましいと考え、採択とした。

議員発議

私学助成の充実を求める意見書など2件を国に要望

12月定例会で、「私学助成の充実を求める意見書」と「日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し、国会が批准することを求める意見書」の2件が、議員発議で提案され、これを可決。国に対し意見書を送付しました。

私学助成の充実を求める意見書

意見書は、右の陳情の内容のとおりで、過疎地域の私立高校に対する特別助成の増額を含め、私学助成金を更に充実することを求めるものです。

▶提出先…内閣総理大臣　財務大臣　文部科学大臣　衆議院議長　参議院議長　岩手県知事

日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名し国会が批准することを求める意見書

意見書は、右の陳情の内容のとおりで、日本政府がすみやかに核兵器禁止条約に署名すること、衆議院・参議院の両院ですみやかに核兵器禁止条約を批准することを求めるものです。

▶提出先…内閣総理大臣　衆議院議長　参議院議長　外務大臣

普代中３年生が議会を初傍聴

「本気の議論、すごい！」

議会、村づくりへの関心深まる

普代中学校（角掛忠浩校長、生徒62人）３年生18人が、12月14日、議会議場で村議会12月定例会を傍聴しました。生徒たちは初日の村議２人が登壇した一般質問と村側の答弁などを傍聴。張り詰めた空気の中で、村の将来を考え繰り広げられる論戦を肌で感じていました。生徒たちに地域への関心を高めてもらうことを目的に開催し、今年で４年目。生徒の感想から、村づくり、議会への関心が見受けられました。その一部を紹介します。

皆さんが、いろいろな土地で多くのことを学び経験し、いつか古里・普代に戻ってくることを願っています。

真剣な表情で発言を聞きます

傍聴席から見る議場

普代中３年生が初めて議会を傍聴しました

熱心にメモを取ります

発言者・答弁者の思い伝わった

普代中３年　佐藤　理子（りこ）さん

議会に初めて行ってみて普代中の総会と違ったというのは、当たり前なのですが、発言者は納得するまで意見を続けるところがすごいと思いました。
　発言者は、村民の率直な意見を伝えて、良い結果を村民にあげたいという気持ち、答弁者はできる限りのことをしてやりたいという思いが伝わってきました。できる確率が低いからしないではなく、少しでもできるのならやってみるという村になってほしいです。
　人口は減る一方ですが、村に残っている人たちのため、これからも頑張ってほしいです。

たくさんの話し合いで、村は動く

普代中３年　葛形　恵悟（けいご）君

初めて普代村の議会を見て、皆さんが村のために頑張っている姿を見て、すごいと思いました。今までたくさん話し合ったから、村がよくなっているのだと思います。
　ぼくは村の施設で図書館だけ、古いままと聞いて新しくなれば自然と人が集まって、たくさんの人々が本をこれまで以上に読むようになると思います。
　今日の体験を通して、ぼくはこのような活動があるおかげで、普代村がどんどんよくなっているのだと改めて思いました。これからも普代村のために頑張ってください。

もっと議会に興味を持つべき

普代中３年　野田口　和奏（わかな）さん

私は初めて議会を見ましたが、こんなに村のために活発な話し合いが行われているとは思わなかったし、将来のことについても議論されていて、これからを担って行く私たちはもっと議会に興味を持つべきだと思いました。
　この議会で話し合われていたことが、実際にできたら普代村は素晴らしい村になり、若い世代の流出も抑えられ、人口減少にも歯止めがかかると思います。
　ぜひ、実行して住みやすい、住んでみたいと思う村をつくっていってください。

普代の発展、私も協力したい

普代中３年　大上　華穂（かほ）さん

今までは村議会でどのようなことを話し合っているのか分からなかったですが、実際に話を聞いて、「人口減少」の問題や「普代村民がより心地よく安全に暮らすには、どうしていくべきか」など村民の安全や村のこれからについて１番に考えながら、いろいろな取り組みをしてくれているのだと感じたし、本当にありがたいなと思いました。
　これからは、村の行事や取り組みに積極的に参加していこうと思います。
　今後も普代の発展のために頑張ってほしいし、私たちも協力していきたいです。

村民を思う話し合い、実感

普代中３年　駒木　夕陽（ゆうひ）君

全体を見て、議事に沿って議長や議員の方がスムーズに話し合っていると思いました。一般質問で議員の方が質問をして、相手の方が答えるのをものすごく繰り返して意見を言い合っているのは、すごいと思ったし、自分も学ぶことがありました。
　最後まで話し合いを聞くことはできませんでしたが、人口減少や図書室、住宅施策、小中一貫校について、普代村に住んでいる人のことを思って話し合いをしているなと感じました。本当に貴重な見学をさせてくれてありがとうございました。

活発な話し合い、印象的

普代中３年　藤島　杏夏（あんな）さん

議会全体を見て、質問をして答弁されたあとの質問者の返しがすごいと思いました。生徒総会では、質問者の返しが「分かりました」「ありがとうございます」などで終わっています。ですが、議員さんの場合、答弁を聞き、分からないことはもう一度質問したり、それに対しての意見を言ったりしていて、活発な話し合いをされていたのが印象的でした。
　私もこのような話す機会があったら、もっと深く意見を言ったり、質問したりできたらいいなと思いました。また、議会を見に行きたいと思いました。

可決 こんなことが、決まりました

第9回臨時議会

村議会第9回臨時議会は、11月24日開会、同日閉会しました。審議した案件は、村営南浜住宅建替工事の増額と白井漁港漁村再生交付金工事の2件。審議の結果、全員賛成で原案可決しました。内容は次のとおりです。

南浜住宅建て替え外構分を増額補正

▽一般会計補正予算（第5号）

補正額541万4千円を増額し、総額30億7325万7千円としました。

歳出では、緑区内に建築する南浜住宅建替工事の外構分808万円を増額し、一方で芦渡住宅長寿命化型改善工事・設計分の266万6千円を減額しました。

基礎部分が完成した南浜住宅（緑区）

白井漁港の強化請負契約を締結

▽白井漁港漁村再生交付金（東防波堤他）工事の請負契約締結

▽工事名…白井漁港漁村再生交付金（東防波堤他）工事**▽場所**…白井地内**▽契約額**…1億152万円**▽請負者**…株式会社　小山組

白井漁港の力持漁港側（東側）の防波堤のかさ上げ工事と消波ブロックの据え付け工事を行います。延長36・7メートル。

委員会リポート

アワビ陸上養殖を調査

産業経済常任委で福島町視察

ひな壇型の水槽の前で説明する山内繁樹博士（中央）

産業経済常任委員会（野場義時委員長、委員4人）は10月3日、村のアワビ養殖の可能性を探り、漁業振興につなげることを目的として、北海道福島町のアワビ陸上養殖施設を視察しました。

本年度、村は地方創生事業でアワビの天然蓄養施設の可能性調査を試験しており、その関連として、宮古市田老町の田老漁協アワビ種苗生産施設を事前研修し、アワビの陸上養殖で先進的な取り組みをしている福島町を訪問しました。

視察では、同町産業課水産アドバイザーの山内繁樹博士に養殖方法の考え方などを説明していただきました。

概要は次のとおりです。

①アワビ類の種苗生産施設技術に比べ、飼育用水量を8分の1に圧縮

約60㎡の施設にひな壇型積層による水槽管理を行い、給餌・清掃の合理化と、対面配置により飼育管理作業移動の効率化で人件費削減を図っている。

また、エゾアワビの産卵は5センチ以上で、産卵が始まると成長速度が低下することから飼育期間を圧縮し、5センチサイズの出荷を考えている。

②流通加工の考え方

天然アワビとの競合回避、生産量増加による価格低下を回避するため加工の出荷形態にする。平成31年秋を目途に商品化を計画し、販売経路なども検討していく。

③新たな陸上養殖技術の開発によるブランド化事業

同町では本年度国から地方創生拠点整備交付金1億2千万円を受け、15万個を養殖できる施設を建設予定。平成30年度から本格稼働させる。面積は667㎡。

視察を終え、同施設はまだ本格稼働していないので、今後も取り組みを確認しつつ注視していくこと、と委員会でまとめました。

事務局日誌から 議会の動き

10月10日～1月7日

月　日	場　所	事　項	出　席　者
10月10日	久慈市	久慈広域連合議会議員全員協議会	大上・野場議員
15日	矢巾町	矢巾町産業まつり	副議長
17～19日	香川県	政務調査会研修会	議長
18日	久慈市	リアス・ハイウェイ早期実現久慈大会並びに八戸・久慈自動車道整備促進住民大会	各議員
20日	久慈市	岩手県建設業協会青年部連絡協議会交流会	副議長
		久慈広域連合議会定例会	大上・野場議員
21日	普代中学校	小中合同文化祭（普代スクールフェスタ2017）	各議員
22日	東京都	ふるさと普代会の集い	議長
23日	久慈市	久慈広域連合例月出納検査	大上議員
25日	和野山村有林	久慈地方森づくり大会	各議員
27日	宮古市	岩手県沿岸知的障害児施設組合議会定例会	熊谷議員
31日	盛岡市	第68回全国漁港漁場大会	議長
	宮古市	岩手県沿岸知的障害児施設組合例月出納検査・定期監査	熊谷議員
11月4～5日	管理センター・社会体育館	中学生の「税についての作文」表彰式・第36回普代村交通安全村民大会、村文化祭	各議員
9～10日	青森県むつ市	岩手県沿岸知的障害児施設組合議会議員視察研修	熊谷議員
	花巻市	町村議会広報担当者研修会	嵯峨・正路議員
14～16日	福井県ほか	東部町村議会議長会先進地視察	議長
17日	くろさき荘	静岡県河津町との夕食会	正副議長
18日	普代浜園地	河津桜の記念植樹事業	各議員
20日	久慈市	久慈広域連合例月出納検査	大上議員
20～22日	東京都	地方自治法施行70周年記念式典、第4回定例理事会、第3回政務調査会・研修会、県選出国会議員との懇談会、第61回町村議会議長全国大会（第42回豪雪議長大会）	議長
24日	役場	議会運営委員会、議会全員協議会、村議会第9回臨時会	各委員・各議員
	野田村	久慈地区市町村議会連絡協議会議員研修会・交流会	各議員
30日	宮古市	岩手県沿岸知的障害児施設組合例月出納検査	熊谷議員
12月　2日	くろさき荘	村消防団及び村婦人消防協力隊忘年会	議長
3日	社会体育館	第14回普代村ボランティアフェスティバル・第15回普代村歳末たすけあいチャリティー演芸会	議長
3～　5日	滋賀県日野町	インバウンド教育旅行受入れ体制構築事業	野場議員
7日	役場	元議会議員中居義己氏高齢者叙勲（旭日単光章）受章伝達	正副議長
10日	盛岡市	衆議院議員鈴木俊一先生東京オリンピック競技大会東京パラリンピック競技大会担当大臣就任を祝う会	議長
12日	役場	議会運営委員会	各委員
14日	役場	村議会第10回定例会	各議員
19～20日	久慈市	久慈広域連合定期監査	大上議員
25日	久慈市	久慈広域連合例月出納検査	大上議員
26日	久慈市	久慈広域連合議会議員全員協議会、久慈広域連合議会臨時会	大上・野場議員
	宮古市	岩手県沿岸知的障害児施設組合例月出納検査	熊谷議員
	役場	議会広報常任委員会	各委員
H30年1月4日	太田名部魚市場、普代村漁協	普代村漁業協同組合魚市場初売り式、同組合新年会	正副議長
5日	管理センター、くろさき荘	村成人式、新年交賀会	各議員
7日	普代分署	村消防出初式	各議員

お知らせ

本号または過去の「ふだい議会だより」は、村ホームページ（http://www.vill.fudai.iwate.jp/）から見ることができます。トップページの行政情報をクリックし、次のページの右下にある 議会だより をクリックしてください。ぜひ、この機会にウェブサイトもご覧ください。

VOICE 未来予想図 Fudai

若い世代が前に！

深渡 柊（しゅう）さん（20・学生）

村を離れて思うのは、「普代は人があったかいな」と思うところです。今はアパートから学校までバスで通っているので、特にも小中学生のとき、学校帰りに「お帰り」と家族みたいに接してくれた皆さんのことが思い浮かびます。そして、なんか気楽でした。（笑い）

成人式で振り袖を着ました！　まだまだ家族に甘えているけど、大人になる第１歩を踏み出した感じです。普代は、若い世代が前に出ていける感じになればいいですね。久々の「ひっつみ汁」がおいしかった！😊

活気ある村に！

赤坂 貴好（たかよし）さん（20・会社員）

高校を卒業し、普代に残って建築の仕事をしています。休みの日は友達とドライブしたり、釣りに行ったりしています。海の景色や山の紅葉がいいですね！　なんか落ち着く感じがして。

海のものもおいしいですが、カレーパン、かりんとうも結構おいしいですよね。それと田楽もでした。

普代はいいところで、今の暮らしに結構満足しています。若い人が戻ってこられるように働く場所があって、これからもっと若い人を増やして、活気ある村にしたいですね！😊

お知らせ　議会にお出（い）でください。

村議会定例会は、３月、６月、９月、12月の年４回、役場３階の議会議場で開かれます。議員は議場でどんな発言をしているのか、また、どんな村づくりを考えているのか、今後の村の方向性を直接聞くことができる良い機会です。ぜひ、お越しください。

また、役場１階にある村民ホールのテレビでも議会中継を見ることができますので、お気軽にどうぞ。

12月定例会の議場での傍聴者は20人でした。

次回は３月上旬を予定

お待ちしています!!

問＝議会事務局（☎35－2118）

12月定例会を傍聴する普代中生

傍聴者の感想！

村が思いやりの暮らし、安心生活の場であることを願います。青い国、夢の国で終わらないように一歩を踏み出し、次の世代に贈り物を届ける、議会がそんな“夢”を生む場であってほしいと思います。

謹んで新春の
お喜びを申し上げます
本年が普代村にとって
実り多き年と
なりますよう
ご祈念いたします

議長 中村 裕
副議長 熊谷 有耕
議員 嵯峨 典行
中上 一登
正路 正敏
金子 泰男
大上 浩史
野場 義時
森田 幸一

議会広報常任委員会
委員長 森田 幸一
副委員長 正路 正敏
委員 中上 一登
嵯峨 典行

今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの感想をお待ちしています。　一緒に考えよう　この村のカタチ。

ふだい議会だよりはスマートフォンでもご覧になれます。

■発行日　平成30年１月25日　■発行　普代村議会　■編集　議会広報常任委員会
〒028-8392　岩手県下閉伊郡普代村第９地割字銅屋13番地２
TEL　0194-35-2118　FAX　0194-35-2712